

## 「当院における膵癌患者の看取り場所に関する後向き試験」について

### 1. 研究の対象

2020年4月1日～2025年3月31日の間に当院で診断治療を行った膵癌の患者さん  
(特殊型膵癌(IPMC、神経内分泌腫瘍など)の患者さんは除外します)

### 2. 研究目的・方法

膵癌に罹られたり亡くなられたりする患者さんは年々増加傾向であり、当院を含む中東遠地区においても同様の傾向を示しています。加えて、診断する時に既に手術で切除できない事も多く、治癒率が低い事も特徴の一つであり、看取りを含めた全人的な医療が必要となります。積極的な治療ができなくなった場合、自宅で過ごしたりや療養型病院へ転院したりするなどいくつかの選択肢がありますが、厚生省医政局は「在宅医療の体制構築に係る指針(令和4年通知)」において最後の時を自宅で過ごす看取りの在宅医療を推奨しています。当院で診療を行った膵癌患者さんの看取り場所を明らかにすることで、当地域の抱えている膵癌患者さんの看取りに関する問題を抽出することを目的としています。

研究期間は病院長許可日から2028年3月31日です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、既往症、診断時のステージ分類、膵癌に対する治療内容(内視鏡治療、化学療法、手術、疼痛コントロールなど)、手術成績、最終的な看取り場所、死亡日時

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 科長 金子淳一